

きんだんこうい

禁断行爲

~義母に●出し

岬ゆきひろ



あの夏を
俺は忘れない
俺の前に現れた

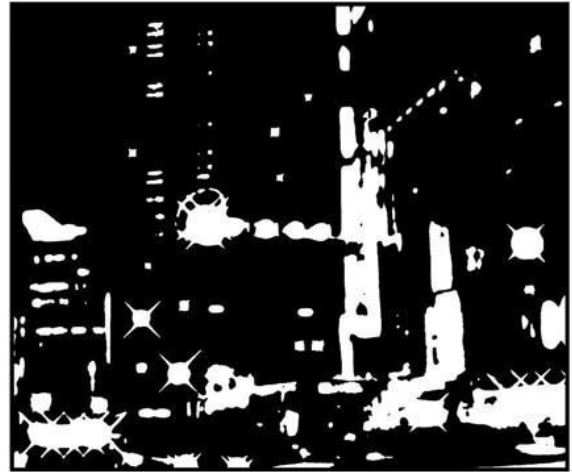


帰って
きやがった...



一人の女性が俺を...
いや
俺の家族を変えた
あの夏を

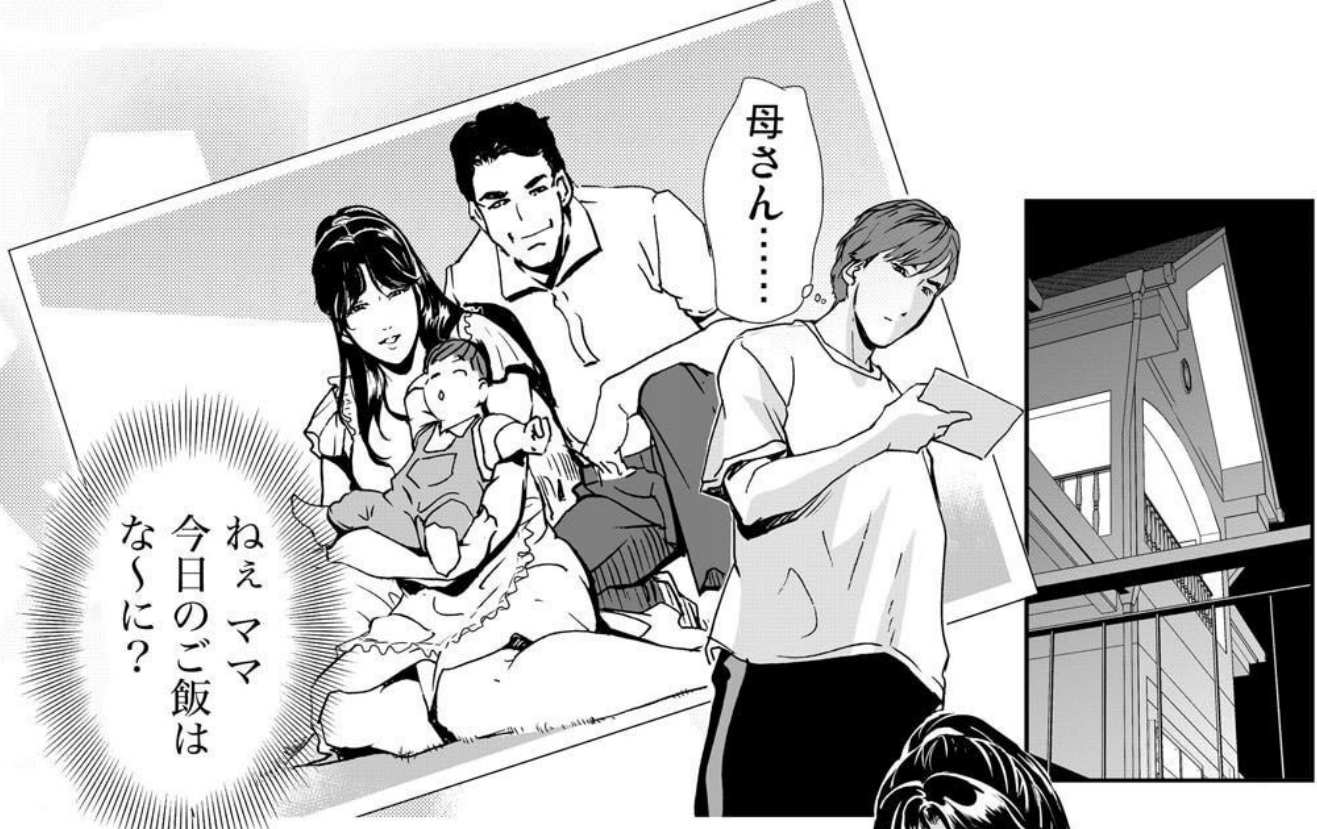
















先月まで
ウチの会社で
受付をして
くれていた
遠山由里さんだ



はじめまして



彼女と再婚
しようと
考えているんだ

!?

再婚……



お前に
会わせなきゃと
思っていたが
なかなか
タイミングが
無くて……



……ども



……勝手にしろよ



おい
待ちなさい

俺に気を
遣うなよ

どうせ
俺もアンタに
食わせてもらって
身なんだから











せっかく
由里が用意して
くれたんだから…

うるせえ！

この女のこと
何も知らねえ
くせによ！

おい
ちょっと待て！

おい
和樹…

!?
どういうことだ？
この女なんて
言い方は…

和樹君
もう寝る
時間よ

やだ
ママのお膝で
寝る

ちっ





和樹のこと
なんだが…

お前が
やりづらいのなら…
アレに一人暮らしを
させてもいいと
思っている

なんですか？

この家から
出すって
言うんですか？

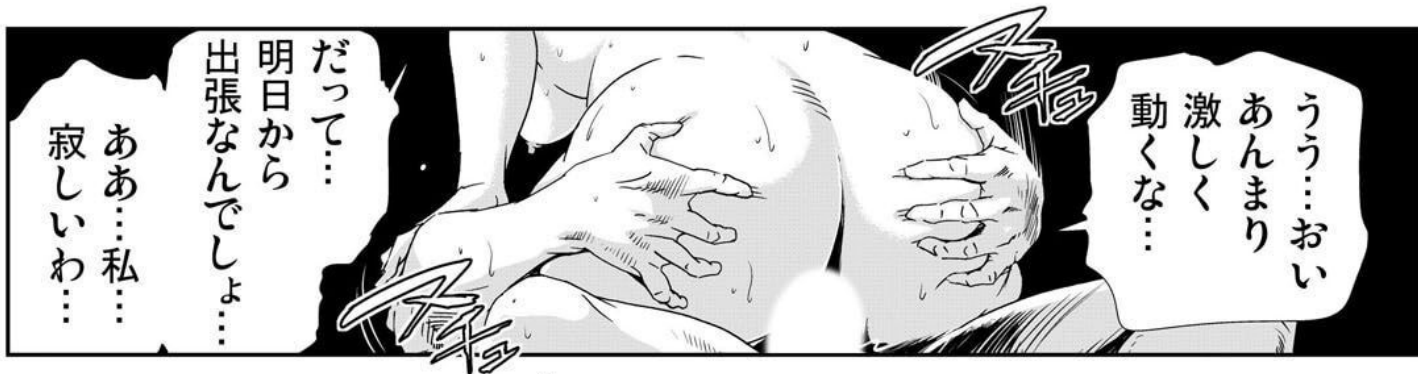
アレにとっても
その方が
良いかもしれない

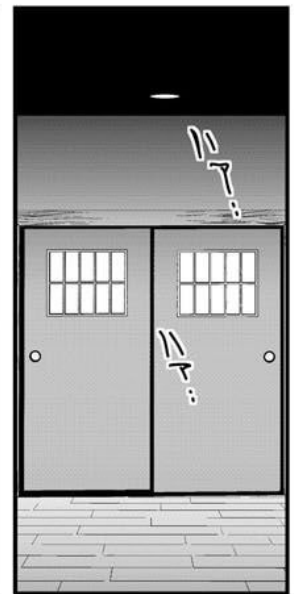
変な気を……
遣わないで
ください

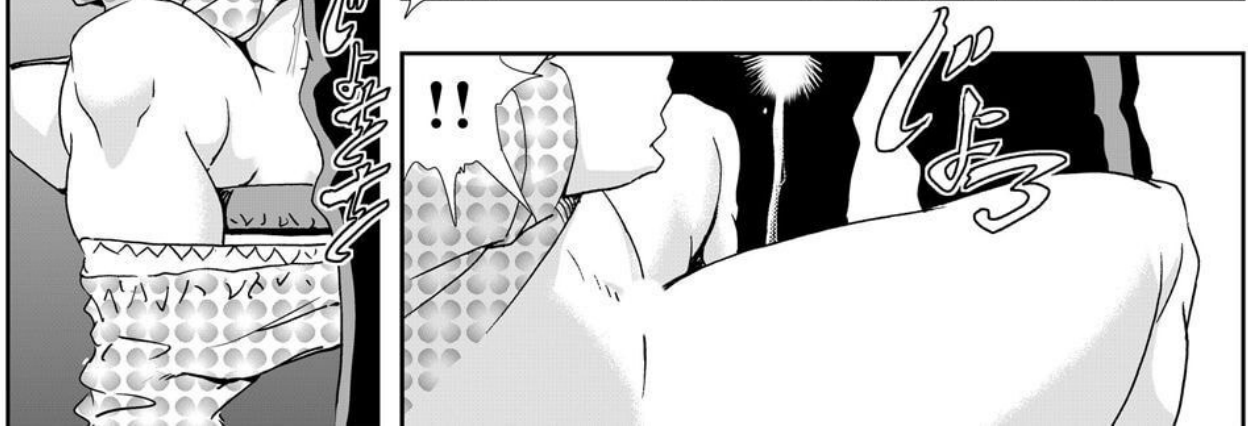
家族なんだから
……平気です

俺が家を
出る…!?





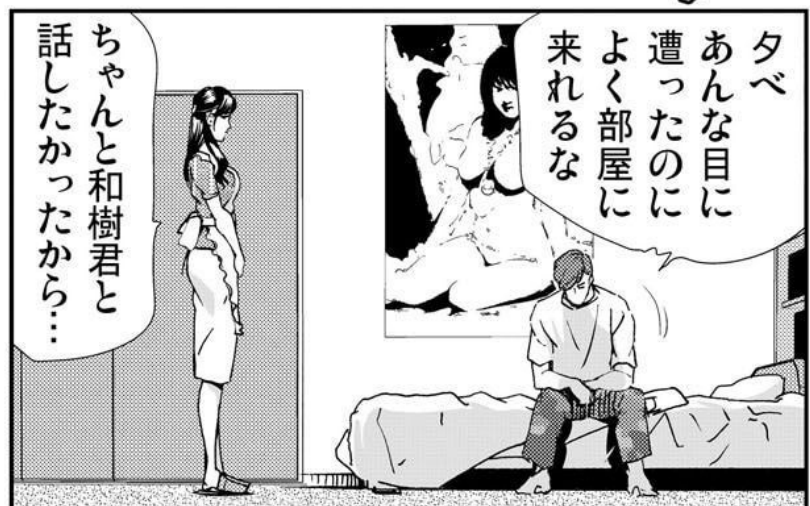
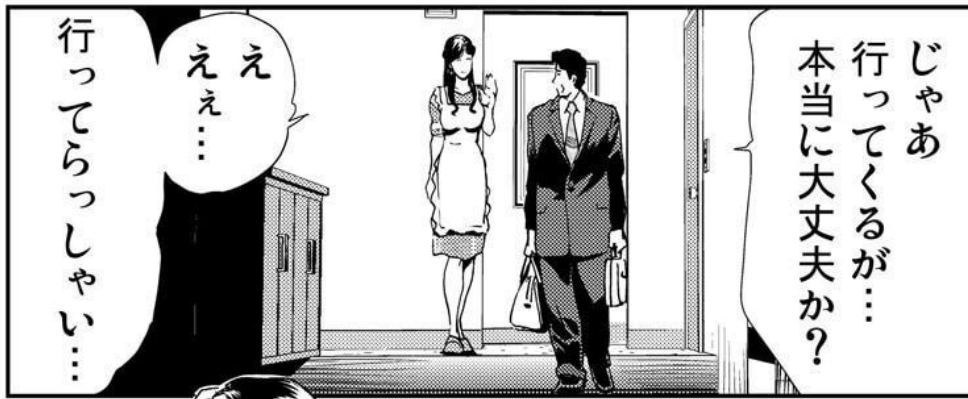








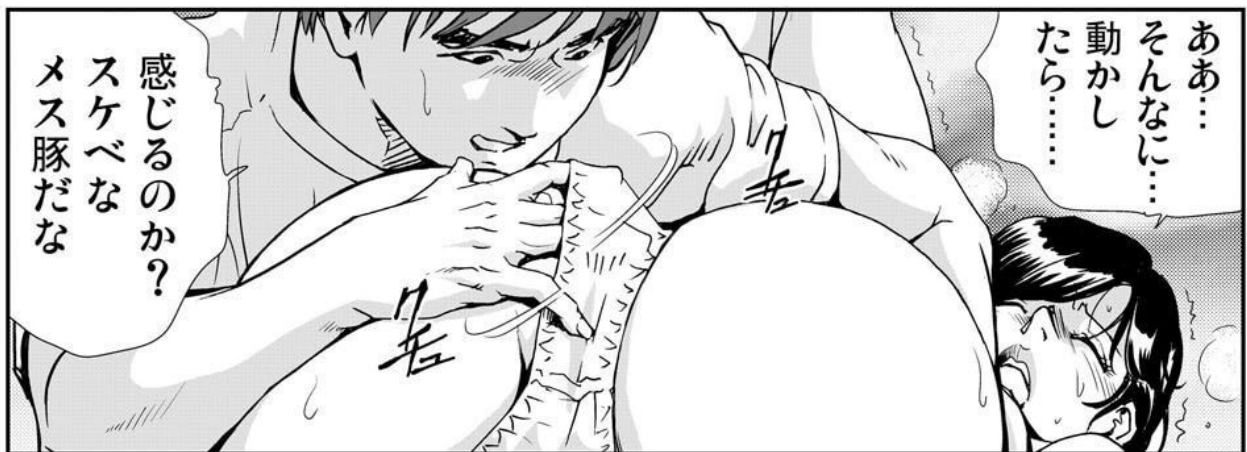






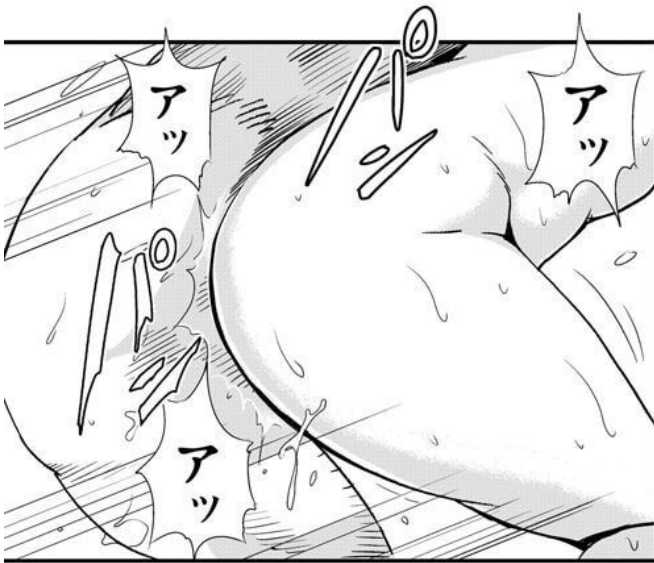






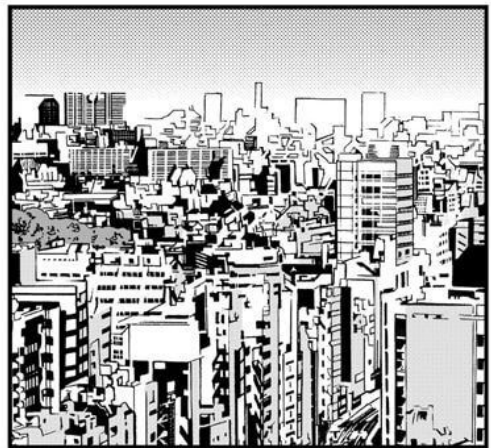












あの夏を俺は忘れない
俺の前に現れた一人の女性が俺を……
いや俺の家族を変えたあの夏を――



由里……







